

糸我小学校だより

令和5年9月28日①



朝夕涼しくなり、ようやく秋らしさを感じられるようになってきました。それでも日中は、相変わらず暑い日が続いています。そんな中、糸我小学校では9月30日(土)に開催される運動会に向けての練習も大詰めに入ってきました。また、児童会役員選挙も行われ前期役員から後期役員にバトンタッチされるなど、学校行事からも秋を感じることができます。そんな学校の様子を今回も紹介したいと思います。

いよいよ運動会です!

9月30日(土)は、秋季運動会(午前中)です。今年の運動会のスローガンは『みんなで仲良く協力して楽しい運動会にしよう』です。子供たちは、このスローガンを胸に、競技・演技の練習に励んでいます。日を追うごとにみんなの動きがそろってきたり、動作が大きくなってきたりと、どんどん上手になっていく子供たちの姿に感心します。

特に6年生は、中心となって準備を進めてくれています。みんなのために走り回っている姿は気持ちよく、頼もしく思います。また、高学年の子が低学年の子のお世話をしている場面もいつもよりたくさん目にすることができます。その姿は、いつ見てもとてもほほ笑ましいものです。

こうした行事をとおして、高学年の児童は高学年としての自覚と責任感が、低学年の児童は高学年を敬う気持ちが育っていくのを感じることができます。また、九鬼靖太先生に教えていただいた『前傾姿勢』も走りに生かされているかも見所です。運動会当日がとても楽しみです。

そんな子どもたちの頑張る姿を地域の皆様方にも、是非、見ていただき、声援を送っていただければと思います。また、参観の際は、運動場に日陰になるところが無いので、熱中症対策を十分にしてお越し下さい。



後期児童会役員決まる

9月7日(木)に児童会役員選挙の立会演説会と、投票が行われました。

今回の立会演説会は全児童が体育館に集まって、候補者の演説を聴きました。目の前に子供たちがたくさんいる中で演説は、きっと緊張したことでしょう。それでも、どの候補者も推薦者も堂々と演説を行うことができました。各学年の子供たちもしっかりと演説を聴いていました。また、選挙管理委員も候補者紹介や立ち会い演説会の司会等、立派に務めを果たしました。

立会演説会後の投票は、タブレットを使って行われました。そのため、集計も早く正確に行うことができました。後期児童会役員は下記の子供たちになりましたので紹介します。

会長 6年生

児童会での話し合いをするとき、先に自分の意見をもって進めていきたいです。そうすることで、意見が出なかったとき、自分の意見を発表し、スムーズに進めることができます。また、困っている人を助けます。私から積極的に声をかけ、会長として見本になります。

副会長 6年生

誰にでも優しくできる学校にしたいです。そのために、自分からみんなにやさしくしたいです。あいさつ運動は大きな声で元気になるあいさつをしたいです。

副会長 5年生

糸我小学校をもっと楽しくしていきます。あいさつ運動をとおしてみんなを元気にしたり、全校で遊ぶ機会を増やしたりしていきます。よりよい糸我小学校になるように全力を尽くします。

書記 6年生

この学校をあいさつのできる学校にしたいです。そのために、児童会役員として、あいさつ運動をがんばります。みんながあいさつを返してくれるように、明るく元気なあいさつをします。一生懸命がんばります。

書記 5年生

積極的にあいさつをしてみんなが元気で明るい糸我小学校にしていきます。行事にも全力で取り組みます。

ユニセフ募金

前期児童会役員が困っている世界の子供たちに何かできないかと考え、1学期末に自分のお小遣いでユニセフに募金しようと計画しました。みんなの協力で11,514円集まり、ユニセフに送りました。その時の感謝状が学校に届きました。



糸我小学校だより

令和5年9月28日②



九鬼靖太先生の「速く走る」ための授業

9月7日（木）、有田市教育委員会の体力アップ事業の一環として、九鬼靖太先生が糸我小学校に来て、3年生から6年生の児童に『速く走る』ための授業をしてくださいました。

準備運動から実走まで、始終楽しい雰囲気の中、速く走るためのコツ（前傾姿勢）を教えてくださいました。子供たちも一生懸命話を聞き、走っていました。授業後「絶対速くなってる」という感想も聞けました。タイム測定が楽しみです。

また、休憩時には、子供たちは九鬼先生に挑戦です。一緒に走ってみて、九鬼先生の速さにびっくりしていました。テレビで観ているだけでは分からない、実際の速さを実感したようでした。運動会で今日の成果を発揮できると良いですね。



【九鬼靖太先生のプロフィール】

筑波大学大学院にてコーチング学の博士を取得。現在は、大阪経済大学人間科学部准教授。陸上競技の専門は100m走。自己ベスト10秒45、全日本インカレ男子100m4位。現在は、大学准教授としてスポーツ科学の研究と学生教育に従事する傍ら、プロサッカー選手や実業団チームなど、幅広い種目や競技レベルのアスリート、キッズへの指導を行っている。また、自身の研究結果や海外各国の研究論文を分かりやすく解説しながら、「速く走る」ためのセミナーを各地で開催されています。株式会社SPEED-CREATORS代表取締役。

着衣水泳

9月1日（金）に6年生が着衣水泳を行いました。着衣水泳では、服を着たまま水の中に入ると動きづらいことを体感し、不意に水の中に落ちたとき、どうすれば良いのかを学習します。

不意に着衣のまま、水の中に落ちると、泳ぎが得意な人でも溺れてしまうことがあります。キーワードは「浮いて待つ」です。水の中で助かるためには、助けがくるまで、浮いて待つようにします。体を大の字にして口と鼻を水面に出し、息ができる「背浮き」の状態です。待つことが大事になります。

また、ペットボトルが浮く道具になることを知り、ペットボトルで浮く感覚も体験します。友達が溺れそうになったときには、救助のために水の中に入らず、浮く道具になるものを投げて、浮いて待つことを伝え、助けを呼びに行くことが大切だということも知っておいてほしいです。



家庭科（ミシン）のボランティア

6年生で初めてミシンを使う授業がありました。通常なら、先生の説明を聞いたり教科書を見たりしながら、ミシンで作業を進めていくのですが、なかなかそう簡単には進みません。互いに教え合うにも初めてのことでわかりません。だから、先生が個別に対応しながら回るのですが、先生が来てくれるまでの待ち時間が長くなってしまいます。

そこで、コミュニティスクール推進委員の上野山恭子先生がボランティアを募ってくださり、今回、お忙しい中にもかかわらず、6名もの地域の方がお手伝いに来てくださいました。とても丁寧に教えてくださったので、子供たちはよく理解できたと思います。また、長い待ち時間もなくなり、効率よく作業を進められました。本当にありがとうございました。

今後も何かと地域・保護者の皆様のお力をお借りしたいことがあると思います。お忙しい中とは思いますが、ご都合がええれば、是非、お力を貸していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

